

# 学力向上だより

北九州市立菅生中学校  
〒803-0279 小倉南区徳吉南二丁目2番1号  
菅生中学校学力向上推進委員会

## 平成28年度 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」については、平成28年4月19日（火）に、3年生を対象として、「教科（国語・数学）に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

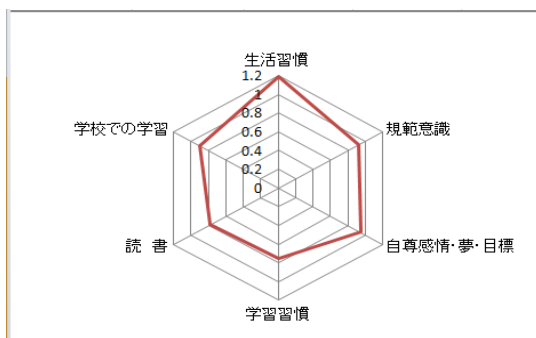
この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

学力の定義や捉え方は様々であり、一概に論じることはできません。この学力調査もそのときの学力の一部を表しているに過ぎませんが、この結果も客観的な指標の一つであると考えます。本校では調査結果も重視し、今後も効果的な指導や学力向上につながる教育活動が実践できるように努めてまいります。ご家庭でも家庭学習チャレンジハンドブックなどを参考にされ、お子様の学習をご支援いただけましたら幸いです。

### 1. 教科に関する調査結果の概要

カテゴリー	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語A	33問中21問の問題で、回答率が全国平均よりも高い、または同程度だった。漢字を読む問題などで、基礎的な力の向上が見られた。	下回っている
国語B	目的に応じて文章を要約する問題の平均正答率が、全国を上回った。短答式・記述式の問題の正答率は、選択式の問題よりも正答率が低かった。	下回っている
数学A	正の数と負の数の加法の計算問題の平均正答率が、全国より高く、基礎的な力の定着が見られた。また、関数の問題が、他の領域より正答率が高かった。	下回っている
数学B	グラフの傾きを事象に即して解釈する問題が、全国と同程度であった。資料活用問題は、他の領域の問題よりも平均正答率が低かった。	下回っている

### 2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する調査結果の概要



**質問紙調査の結果分析**

生活リズムの定着に関する質問に対し、肯定的な回答をした生徒は、全国平均75.2%を上回る89.4%であり、基本的な生活習慣の向上が見られた。学校の授業において、目標の確認や振り返る活動が行われていたと答えた生徒は、全国平均を上回っており、授業改善の取組の成果が見られる。家庭学習の計画性や実施時間、読書習慣の定着、自尊感情等については、今後も向上を目指した取組が必要である。

### 3. 調査結果から明らかになった課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組（全校で・学年で・学級で）

生徒質問紙の結果から、授業において、目標を確認する活動やまとめ・振り返り活動ができていると判断できるので、それらが学習内容の定着により効果をもたらすよう授業改善の研修を行う。また学習の基盤である、生徒同士の人間関係を向上させる対人スキルアップの取組を継続して行う。

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

家庭学習の定着についてはこれまで行ってきた、自学ノートや週末課題の徹底した点検と評価を継続して実施し、頑張っている生徒の取り組み方や、自学ノートを好例として示したり、学校長による表彰を行ったりして、生徒の意欲を高める。